

保護者様

新居浜市立神郷小学校校長  
伊藤 英二

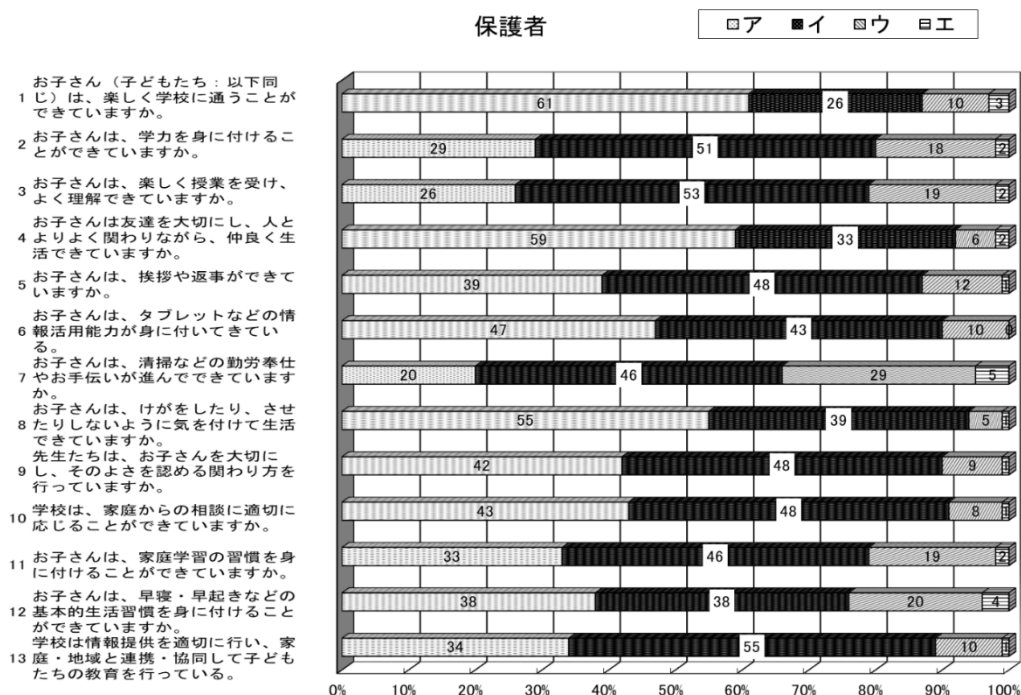
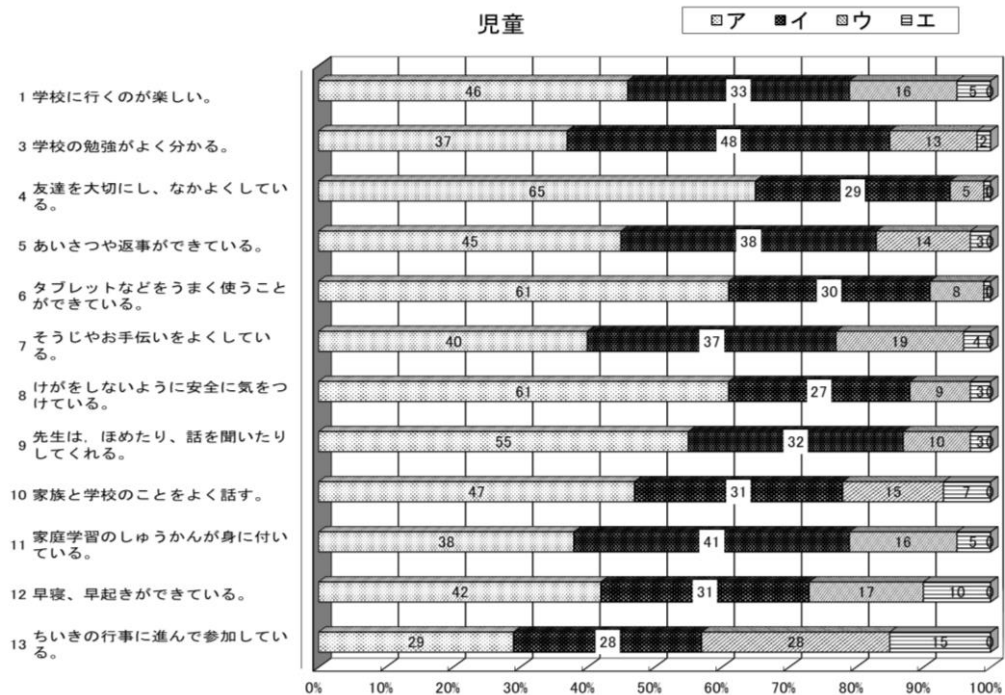
令和5年度神郷小学校の教育活動についての評価結果

弥生の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。さて、先日は学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。学校ではその結果を基に、本校教育の改善、充実に向けて協議を行いました。そのアンケート結果と考察内容をご報告いたします。

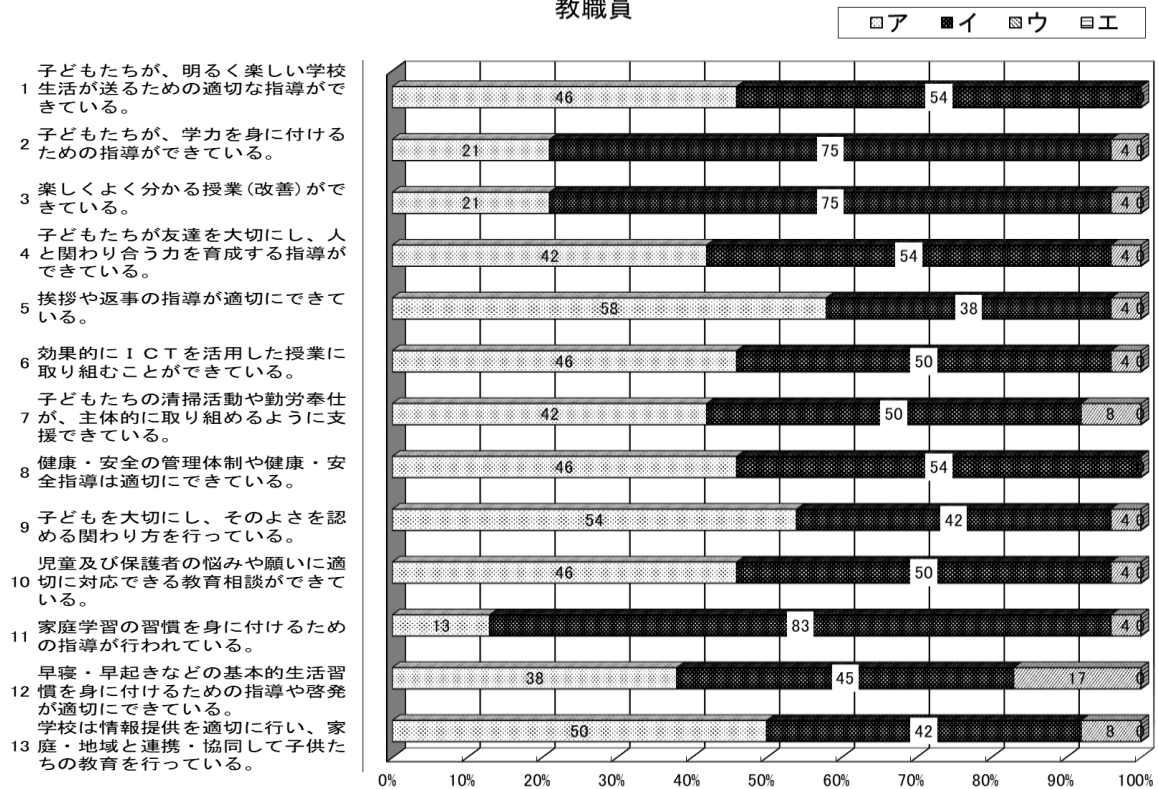
本校の自己評価

(1) アンケート結果と評価表

(ア：できている イ：大体できている ウ：あまりできていない エ：できていない)



## 教職員



### ○ 自己評価結果についての考察及び改善策等

今年度も、児童、保護者、教職員に対して、これまでとほぼ同じ観点の項目で自己評価を実施しました。これは、学校（教職員）の取組が、児童や保護者にどのように受け止められているかを明確にすることで、本校の教育活動のより具体的な改善につなげるためです。また、教職員の意識改革を図ることにも役立てていきたいと考えています。全体的には、「できている・大体できている」という肯定的な評価を80%以上受けている項目が多く、本校の教育活動について一定の評価をいただいているものと考えられます。しかし、勤労奉仕など「あまりできていない・できていない」の割合が高くなっている項目もあり課題となっています。また、「あまりできていない・できていない」が5%未満であっても児童数が489名の本校では、見過ごすことのできない人数となります。これらの結果は、昨年度とほぼ同じ傾向にあり、更に改善していくためには継続して一歩ずつ取り組んでいくことが大切になると思います。今後も一人一人を大切に、きめ細かい学習指導や生徒指導の取組を教職員全員で継続していく必要があると考えています。

#### 【1 学校生活について】

児童の約80%、保護者の約90%が、明るく楽しい学校生活を送ることができていると答えています。これは、児童が、学校や学級で認められ、楽しく充実した学校生活を送ることができていると考えられます。しかし、学校が楽しいと感じていない児童が約20%います。過年度と比較するとほぼ同数となっています。児童が楽しいと思える体験活動や学習を増やしていけるように改善していきたいと思えます。また、全教職員が、今後も児童一人一人に目を向け、学校が楽しいと感じられるように個を大切に温かい関わりを持っていきたいと思えます。

#### 【2 学力】【3 授業改善】

学校では、児童主体のよく分かる授業を目指し、課題解決学習・ICTの活用・体験学習など授業改善に取り組んでおり、「学校の授業がよく分かる・大体分かる」という児童は約84%となっています。しか

し、保護者の20%が「学力を十分に身に付けることができていない」と答えています。本校では、重点目標の第一に学力保障を挙げ、様々な取組を行っています。児童の基礎学力の定着を図り、興味・関心を大切にしながら、児童の実態に合った授業や学習方法を研究し、学力向上に向けて努力していききたいと思います。

#### 【4 人との関わり】

児童、保護者ともに92%以上が、友達を大切にし、人とよりよく関わり合いながら生活できていると感じています。学級活動や特別な教科道徳などで自分や周りの人を大切にしながら、みんなで議論し高めていこうとする取組やなかま委員会を中心としたなかま集会やよいところさがしの活動の成果が出てきていると考えられます。これからも、学校で行う様々な活動の中で、相手を思いやる気持ちを大切にしながら集団づくりを進め、コミュニケーション能力を高めていききたいと思います。

#### 【5 挨拶・返事】

児童83%、保護者87%が、普段から挨拶や返事については大切だと考え、できていると答えています。今年度も運営委員会の児童や教職員が、登校時に校門で「あいさつ運動」を行っています。児童の中にも、挨拶が人間関係づくりにおいて大切なものであるという意識ができつつあり、4月から比べると気持ちのよい挨拶のできる児童が増えてきています。しかし、学校ではできるのですが、地域や家庭において恥ずかしさなどから顔を上げて、目を見て元気よく挨拶ができない児童もいます。挨拶が自信を持ってできるように声掛けを続けていききたいと思います。また、挨拶は自分も相手も気持ちよくなるということ伝えていき、挨拶日本一の学校を目指して今後も取組を継続していききたいと思います。

#### 【6 情報活用能力】

児童の約91%、保護者の90%が「活用できている」と答えています。児童は、学校においてタブレット端末を一人一人が使用しながら学習することで、ICT機器を活用できていると感じているようです。しかし、タブレット端末やスマートフォンの使い方が悪く、ゲームを長時間したり課金したりすることや高学年においてはSNS等でトラブルに発展することが起きており、問題になってきています。学校と家庭が連携を取りながら、ICT機器の活用方法やマナーなどをより一層指導していかなければならないと感じています。

#### 【7 勤労奉仕】

勤労奉仕については、保護者の66%が「清掃活動や勤労奉仕が進んでできている・できている」と答えています。これは昨年度と同様にアンケートの中で最も低い評価となっています。児童の評価では、肯定的なものが80%となっており、保護者との意識の差が大きい項目となっています。学校では、教職員共通理解の下、毎日の清掃活動において黙働を進めるよう指導を行い、児童も頑張っています。しかし、家庭において掃除や手伝いを自分から行うといった習慣が身に付いていない現実があるようです。ご家庭でも、家庭の仕事についてお話をしていただき、家族の一員として自分にできることを自分から進んでできるようにお声掛けをお願いします。今後も学校、家庭、地域でも勤労奉仕が行える機会を増やし、人のために働くことを喜びを感じる児童を育てていききたいと思います。

#### 【8 健康・安全】

健康・安全に関しては、児童88%、保護者94%ができています・大体できていると感じており、家庭や地域の方々のご協力によるものだと考えます。しかし、本校周辺の幹線道路は交通量や事故も多く、登下校中の交通安全において心配する面が多くあります。また、自転車乗車中のヘルメットの着用率が低いように感じます。学校でも、児童に「自分の命は自分で守る」という意識を高め、安全教育を行っていききたいと思います。ご家庭でも子どもの命を守るために交通ルールを守るということについてお声掛けをお願いします。

ます。また、今後も家庭や地域の方々に協力をお願いし、児童の安全を守っていきたいと考えています。

#### 【9 児童のよさ】【10 教育相談】

教職員の児童・保護者への関わり方については、児童88%、保護者の96%以上が肯定的に捉えられています。教職員も日々の児童の様子や日記指導などを通して、児童一人一人に大切に関わることができているようです。学校では、月に一度「絆アンケート」を行い、児童の困っていることなどを調査して早期発見、早期解決に努めています。また、月に1度、教育相談日を設け保護者の相談にも応じています。さらに、ハートなんでも相談員が週に2回程度来校し、児童が相談できるようにしています。今後も児童や保護者の悩みに耳を傾け、全ての児童が安心して楽しく学校生活を送れるようにきめ細やかな対応を心掛けていきたいと思ひます。

#### 【11 家庭学習】【12 基本的生活習慣】

家庭学習の習慣は、児童、保護者ともに約79%が身に付いていると答えています。昨年度と比べると児童において身に付いていないと感じている割合が増加傾向にあります。できていないと答えた児童、保護者が20%を超えており問題であると感じます。今後、保護者や教職員が協力して家庭学習の見取りを確実にを行い、子どもたちに家庭学習習慣を身に付けさせていく必要があると考えます。また、生活習慣については、児童27%、保護者24%が早寝、早起きできていないと答えています。ゲームやスマートフォンなどを夜遅くまでしていることで、生活のリズムが崩れている児童も少なくないようです。さらに、タブレットの持ち帰り学習が始まり、使用のルールが守られていない現状があると感じます。これから子どもたちにメディアとの付き合い方を学校でも重点課題として指導していきたいと思ひます。ご家庭でも児童の成長にとってよりよい生活習慣が身に付くようにメディアとの付き合い方、生活習慣の大切さについてお声掛けしていただき、改善をよろしくお願ひします。学校では、今後もご家庭の協力が得られるように努めたいと思ひます。

#### 【13 情報提供・連携】

「情報提供や連携ができている」と答えた保護者の割合は約90%となっています。「地域行事に進んで参加している」と答えた児童は約57%となっており、昨年度と比べると7%ほど増加しています。今年度は、コロナ明けで地域行事が復活してきたこともありその影響と考えられます。しかし、まだまだ数値は低く今後も児童と地域の関わりを大切にしていくな必要があると感じます。学校では、今年度も読み聞かせ、グリーンカーテンの苗植え、昔遊び、町探検、防災教育、しめ縄づくり、神郷公園の清掃活動を行うなど、地域の方々のご協力のもと地域とのつながりを大切に活動した活動をたくさん行うことができました。今後も地域との関わりを密にし、連携を取りながら進めていきたいと思ひます。

情報提供に関しては、学校から各種お便りやホームページ等で情報発信に努めています。今後も保護者・地域の方と児童の接する機会や会話のきっかけとなるような話題を提供していきたいと思ひます。

#### 【14 自由記述欄】

##### 保護者より

##### ○ 学校生活について

- ・先生方がほめて伸ばしてくださるので、毎日、楽しく登校し、意欲的に学習に取り組んでいます。ありがとうございます。
  - ・冬季の服装を見なおしてほしい。足元が寒いそうでズボンを履けるようにしてほしいです。スカートよりズボンを好む女子もいます。
- 配布させていただいている服装のきまりのお願ひでは、男女ともに冬の体操服のズボンを履いてきて構わないことになっております。

- ・計画帳がタブレットになり、計画帳で連絡できていたこと（電話するほどではないこと）が伝えづらくなったように思う。
- ・先生によって対応が異なることは仕方ないと思うが、子どもの個性に対して先生単体での取り組みだけではなく、学校全体での配慮として対応を検討していく必要があると思う。
- ・毎日、楽しく登校し、意欲的に学習に取り組んでいます。ありがとうございます。
- ・給食が苦手だまに学校に行きたくないと言っている事があります。

○ 情報提供

- ・行事予定表ですが、今月分と来月分の2か月分が分かるものがほしい。計画帳のようにタブレット等で確認できると助かります。

→行事予定は、予定が分かり次第、お配りしております。学校ホームページにも掲載しております。タブレットやスマートフォンにてご確認をお願いします。

○ 学校行事

- ・お祭り集会で禁止されている太鼓に乗って登下校している児童がいました。茶髪にしている児童もあり、見ていて小学生らしくないなと思いました。きちんと校則を守り、決まりを守る事も学校生活では大切だと思います。学校は規則についてどのようにお考えか知りたいです。

→学校では、学校生活や社会生活において決まりを守ることは大切であるということを指導しております。お祭り集会でも、事前にプリントを配布し、保護者の皆様をお願いしているところです。残念ながら今年度は決まりが守られませんでした。学校では、決まりを守ることができなかった児童に対し、きちんと指導をさせていただき、保護者の方にもお伝えさせてもらっています。今後とも子どもの健全育成のためご理解ご協力をお願いします。

**学校関係者評価委員より**

- 地域とのつながりにおいてコロナ前は地域との交流会の年間の日程が出されていたが、今年度はなかったので、交流会があるのかないのか分からず困った。大まかな日程を教えてください。また、地域に頼みたいことをどんどん伝えてほしい。
- 3月に教職員の異動がある。地域と一緒にを行う行事の内容等についてきちんと引き継ぎがされておらず、何も分からないということがある。どの教員が担当になってもいいように引き継ぎをきちんと行ってほしい。
- アンケート結果から児童の勤労奉仕の意識が低い。保護者の中には共働き世帯が多く忙しいのは分かるが、家庭で手伝いをさせたり、一緒に地域ボランティアに参加したりするなどしてほしい。
- 他の学校の取組ではあるが、授業開始のチャイムの前にBGMを流している。そうすることによってチャイムの合図で静かに授業を始められているそうです。神郷でも落ち着いて授業に臨めるように工夫に取り組んでほしい。
- 読み聞かせに参加させていただいている。神郷小の子どもたちは、毎回校長室に呼びに来て気持ちの良い挨拶をしてくれます。そして、いつも感謝の思いを伝えてくれ、気持ちよく参加させていただいている。今後も継続してほしい。

どれも学校や子どものことを真剣に考えてくださっているご意見であることに感謝するとともに、学校としても、貴重なご意見を参考にさせていただき、保護者や地域と連携・相談しながら、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように努力と改善を重ねていきたいと思っております。